

2026

10月29日



わくわく園だより

【共育目標】

にこにこ たくましく元気な子
 きらきら 心豊かなやさしい子
 わくわく よく考え工夫する子

訓子府町認定こども園

ことばの力

最近、小学生の間で「やばい」「きもい」という2つの言葉が、感情の全表現として使われる場面が増しているそうです。「美味しい」も「嬉しい」も「怖い」もすべて「やばい」。「気に食わない」「理解できない」もすべて「きもい」。実はこの現象、幼児期からの言葉の環境が深く関係しています。このまま放置すると、将来的に思考力・共感力・コミュニケーション能力の大きな低下につながる深刻な問題として、いま教育現場や言語聴覚の分野で警鐘が鳴らされています。

～ある記事から～

AIが社会に普及するほど「ことばの力」が重要になる理由

なぜ今の時代、子どもに〈ことばの力〉をつけさせることが大切なのでしょう。それは、今の子どもたちが大人になる頃には、今以上にその力が必要になるからです。たとえば、20年後の未来の社会は、今よりはるかに価値観は多様化し、グローバル化し、コンプライアンスは厳しくなり、多くの情報があふれ返っているはずです。そうした解像度の高い複雑な社会の中では、より細かな言葉で物事を感じ、考え、伝えていくことが求められます。「やばい」「えぐい」「きしょい」といった粗い言葉では、考えるべきことも考えられませんし、伝えるべきことも伝えられません。それはゆくゆく本人たちの弱点や生きづらさになってしまうのです。ところが、AIがあらゆることをしてくれる社会の中では、子どもが自然に〈ことばの力〉を身につけていくことは困難です。周りの大人が何もしなければ、子どもはコミュニケーションが苦手になるどころか、思考することすら二の次になる可能性もあります。

【作家 石井光太氏】

幼児期は、言葉のシャワーを浴びて「自分の世界」を広げていく大切な黄金期です。子どもたちが言葉を獲得し、自分の心や周りの世界とつながっていく幼児期は、まさに人生の土台を作るかけがえのない時間です。この大切な時期に「やばい」「きもい」という万能ワード（思考停止ワード）を多用することには、子どもの成長において以下のような深刻なデメリットが潜んでいます。

○語彙の貧困化が思考力を止める

本来、人間は「言葉」を使って考えます。使える言葉が減るということは、物事を細かく捉えたり、深く考えたりする力そのものが萎縮することを意味します。

○感情のコントロール（自己調整力）が育ちにくい

「許せない」「怖い」といった微細な感情の揺れを言語化できないと、ストレスを処理しきれず癇癪や乱暴な行動として表れやすくなります。

○コミュニケーションの断絶

「きもい」の一言で相手を拒絶する習慣がつくと、お互いの気持ちをすり合わせる「対話の経験」が積めず、友達関係のトラブルが深刻化しやすくなります。

家庭という一番安心できる場所で、保護者の方から注がれる温かく豊かな「言葉のシャワー」は、子どもの情緒を安定させ、豊かな表現力を育む栄養そのものとなります。

保育教諭の働き方改革

数年前から「働き方改革」という言葉が、社会全体でよく聞くようになりました。教職（保育等含）はブラックだという声もよく耳にします。つまり教職員の働き方についても関心が高まっており、昨今は新聞やテレビで報道される場面が多々あります。

週休二日制が社会全体に浸透してきたのは約30年前ですが、本園の保育教諭はこれまで週休二日制にはなっておりませんでした。そこで来月から週休二日制を定着させるためには、これまででもご協力をいただいております「土曜日保育」に係り、保護者の皆様のご協力を引き続きお願いしたいと存じます。

こども園は集団生活で刺激が多い分、子どもたちは無意識に緊張しています。週末は家庭という安全基地で、親のぬくもりを感じながら「何もしない贅沢」を味わうことも、心のエネルギーチャージになることでしょう。平日は仕事や家事に追われがちですが、週末は親とゆっくり絵本を読んだり、一緒に料理の真似事をしたりする時間が、子どもの情緒を安定させることにつながると考えられます。

こども園や学校の一番の役割は、未来社会を担う子どもたちに「生きる力」を育むことにあります。その実現に向け、保育教諭が保育の準備等に集中し、健康でいきいきとやりがいをもって勤務しながら、保

育の質を高められる環境を作ることが重要です。今後も本園といたしましては、『保育教諭が健康でいきいきとやりがいをもって勤務すること』と『業務を見直し保育の質を高める環境を作ること』を今後益々検討してまいります。保護者の皆様にもご理解、ご協力をお願いすることが出てくると存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

発表会

わくわく園では、11月11日（3歳）、13日（4歳）、18日（5歳）の発表会に向けての練習が始まっています。どんな演技が飛び出するか、とても楽しみです。お父さん、お母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、みなさんの励ましが、園児にとっての一番のご褒美です。衣装や登園時刻など、いろいろとお願いごとが出てくるかもしれませんが、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

前期アンケート結果について

皆様からご協力いただきましたアンケート調査の結果についてお知らせいたします。

〇令和8年前期アンケート集計結果（令和7年度との比較）～《A 評価の割合》

		保護者 93/105 88%			職員 33/35 94%		
	項目	8年度 前期		7年度 前期	8年度 前期		7年度 前期
1	健康管理	63.4	☒	78.4	57.6	☒	66.7
2	人間関係	75.8	↗	70.1	72.7	↗	63.0
3	環境1	79.6	=	77.3	69.7	↗	59.3
4	環境2	80.6	↗	89.7	60.6	↗	44.4
5	表 現	72.0	↗	67.0	63.6	=	59.3
6	運 営	67.7	=	69.1	72.7	=	74.1
7	預かり保育	63.3	=	62.5	66.7	☒	81.5
8	安全管理	77.4	☒	82.5	78.8	↗	60.0
9	子育て支援	65.6	=	69.8	78.8	↗	66.7
10	特別支援	65.6	=	68.8	75.8	=	74.1
11	地域との連携	68.8	☒	75.3	75.8	↗	70.4
12	給 食	90.3	↗	85.6	84.8	↗	77.8
	平 均	72.5	=	74.6	71.4	↗	66.4



- ♪ 2日（月） 歯みがき指導（3～5歳児）
- ♪ 6日（金） 米太郎倶楽部との交流（5歳児）
- ♪ 9日（月） 歯みがき指導（0～2歳児）
- ♪ 10日（火） 発表会総練習（3歳児）
- ♪ 11日（水） 発表会（3歳児）
- ♪ 12日（木） 発表会総練習（4歳児）
- ♪ 13日（金） 発表会（4歳児）
- ♪ 17日（火） 発表会総練習（5歳児）
- ♪ 18日（水） 発表会（5歳児）
- ♪ 20日（金） リズム遊び①（3・4・5歳児）
- ♪ 24日（火） リズム遊び②（2・4・5歳児）
- ♪ 24日（火） お弁当の日
- ♪ 25日（水） 静寿園訪問
- ♪ 26日（木） たてわり保育（0～5歳児）
- ♪ 27日（金） 誕生会（11月生まれのお友達）

【考察】

- ①健康管理についてですがコロナの5類移行から2年経過し、社会全体の感染症対策の意識が希薄になりつつあるのが読み取れました。しかし、園の清潔感のある環境にはご理解をいただいているようです。
- ②小中高校や地域との連携に対する理解が浸透しつつあるようです。
- ③全体的にA評価が7割をこえており、園の方針をご理解いただいていると判断しております。
- ④回答率が若干上昇。
- ⑤アンケートの回答がA：「よくあてはまる」 B：「あてはまる」 C：「あてはまらない」だけでは答えづらいとの声もありますことから次年度は改善していきたい。

【自由記述から】

- ①身長、体重等のコドモンのアプリへの記載について、実施に向けて検討していきたいと考えております。
- ②動物と触れ合う機会の確保につきましては、保育環境上難しいと考えております。
- ③園児に対する態度・言動が気になるというご指摘ですが、常日頃から気を付けてはおりますが、不適切な対応と感じられましたら園長・副園長にお声がけください。
- ④5歳児の午睡についてですが、本園としては疲労回復、免疫力アップの観点から重要であると考えております。しかし徐々に減らし、後半はほとんど午睡はせずに小学校にスムーズ繋げていけるようにしておりますのでご理解いただきたいと存じます。